雇わずにプロシェアリングする！

外部プロ人材活用成功事例

(株)サーキュレーション
代表取締役　久保田雅俊

No.11　プロのサポートでAI活用新規事業の立ち上げに成功

プロシェアリングとは，高い職能を持って複数企業で同時に活躍するプロフェッショナルを，経営課題に合わせて「雇用」ではなく「活用」するという，新しい人材活用の手法です。2014年の設立以来，サーキュレーションには約15,000名のプロが登録し，約7,800件のプロジェクトで実績を上げてきました。プロジェクトは経営要素の強い案件が多く，新規事業の企画推進や，人事・広報等のミドルオフィス支援，さらにはIPO関連から中期経営計画の策定，CFOのシェアなども実行しています。

AIを活用したイノベーションを展開

今回は，そのなかからアサヒグループホールディングス株式会社（以下，アサヒHD）が，世界初のAIによるパッケージデザインシステムを開発した際のプロシェアリング活用事例をご紹介します。

アサヒHDは，1949年創業，『アサヒスーパードライ』を核としたビール類のトップシェアポジションや生産物流体制の最適化などによる業界トップクラスの収益性を強みとしています。

アサヒHDではAIを活用したイノベーションが今後の変革には必須であるとの認識があり，すでにイノベーションのアイデアも蓄積していたのですが，その絞り込み，および先の展開を悩んでいたところでした。

課題　アイデアを絞り込み新規事業を立ち上げたい

ホールディングスの研究部門を中心に，AI活用のアイデアはすでに30個ほどあったのですが，2018年当時は世の中に事例も少なく，どうやって実現可能性を判断し，絞り込むかに悩んでいました。とはいえ，AIの仕組みを理解し，事業立ち上げを実体験として習得し，実行できる人材など社内にはいません。そこで，プロにアドバイスをいただきながらAI技術の評価から事業立ち上げまで伴走できるプロシェアリングを活用いただくことになりました。

今回はアサヒHDのご担当者が，2018年７月に開催した当社主催のセミナー『経営者のためのAI導入に最適なテーマと失敗しないAI導入プロセスとは？』に参加されたことがきっかけでした。そこにAIのプロとして登壇されていたのが山田勝俊氏（以下，山田氏）です。セミナー後にアサヒHDのご担当者からご相談をいただき，山田氏にご支援いただく運びとなりました。

山田氏は，ディーキン大学（オーストラリア）でMBAを取得後，IT業界で２社の起業経験があり，多国籍AIスタートアップにも参画。200社以上の大企業・中小企業向けに難易度の高いAI技術を含む導入コンサルティングを手がける，まさしくAI事業開発のプロです。

解決策　可能性の選定に続き推進実務をファシリテート

●中期経営計画策定・予算確保

初めに行ったことは今後の見通しを立てることでした。成功・失敗事例やトレンド情報の収集を行ったうえで，経営層も参加する会議等でのディスカッションパートナーとして山田氏も参加し，説明を行いました。意思決定において必要な情報提供，資料作成までアドバイスし，プロジェクトを次のフェーズに進めることができました。

●開発内容の決定

次に，今まで社内で挙げられていた30個のアイデアから絞り込みを行いました。それぞれのアイ

■久保田雅俊
1982年生まれ，静岡県出身。学生時代から複数の事業立案を行う。21歳の時に，進学塾を経営していた父親が意識不明となり，10年間にわたって介護。継続不可能となった父の会社を自身の手で清算することとなる。その経験から企業経営には「金」以上に「人の経験・知見」が必要であるという考えにたどり着く。2014年株式会社サーキュレーションを設立。プロフェッショナル人材の経験とスキルを複数社で活かすプラットフォーム（プロシェアリング）を運営している。
■株式会社サーキュレーション
本社：東京都渋谷区神宮前3-21-5 サーキュレーションビル ForPro
TEL：03-6256-0467　URL：https://circu.co.jp/

成功事例

⋮
No.6　元トヨタのプロ人材が食品専門商社で業務効率化を実現
No.7　グローバル経営人材のアドバイスでECサイト事業に成功
No.8　老舗米菓メーカーが自社ブランド開発体制の構築に成功
No.9　IR戦略を強化し東証一部への鞍替えに成功
No.10　指示型から支援型へリーダーシップの変容に成功
No.11　プロのサポートでAI活用新規事業の立ち上げに成功
⋮

デアの背景や中身，今後の可能性・実効性を山田氏と共に議論し，4個に集約しました。

●開発体制の構築

4個のアイデアそれぞれに対して，山田氏から最適な開発会社を提案いただきました。どんな技術が必要か，それを持っている企業はどう探せばよいかを知っているからこそのアドバイスです。

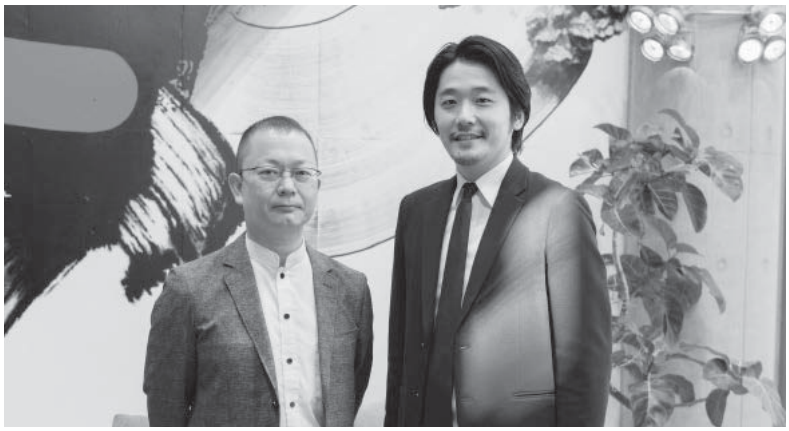
山田氏は要件定義を行う会議の場でも，アサヒHDの意図を開発会社に伝えるためにファシリテーションを担当しました。事業開発の経験がある山田氏がサポートすることで，開発会社とアサヒHD両方の社内合意形成が進みました。

●開発推進

実際に開発がスタートすると，山田氏は開発目標の実現に向けて，引き続きファシリテーションを担当し，加えて，アサヒHDが今後開発会社と自力でやり取りできるよう指導を進めました。また，開発が完了した際のプレスリリースの内容にも知見を提供し，アサヒHDの取り組みは日経新聞をはじめ様々なメディアに掲載されることとなりました。

成果　事業のリリースとともにノウハウの社内蓄積を実現

プロ人材によるファシリテーションを活用した事業展開によって，同社は以下のような成果を得ました。



左：アサヒグループホールディングス株式会社
　永富康司氏（現所属：アサヒクオリティーアンドイノベーションズ株式会社）
右：プロ人材　山田勝俊氏

①当初30個あったアイデアから実現可能性の高い4つに絞り込み，そのうちの1つの「商品パッケージ自動生成のAI」はプレスリリースを発信，業界に十分なインパクトを与えられた
②AI関連はベンチャー企業（開発会社）とアライアンス提携で進めることが常套手段だが，その際のプロジェクトマネジメント力を内製化できた
③最先端の技術力を有するAIベンチャー（開発会社）と共同開発することで，AIに関する最新知識を社内に蓄積できた

プロシェアリング×AI事業開発での支援ポイント

先進的なAI技術を活用した事業を創るために，自社内でリサーチを行って推進する選択肢がある一方で，事業開発のプロ人材を活用し，社内のアイデアを素早く評価し，実現可能な開発会社を紹介してもらうなど，早期に事業を立ち上げることも非常に効果的だと分かる事例です。

社内メンバーの人脈以外でプロ人材を探す手段として，業務委託による支援を通じてアドバイザーになってもらう方法があります。外部アドバイザーへの依頼・活用も雇用と同様にミスマッチなどのリスクはありますが，プロシェアリングサービスを介することでそのリスクは最小化できます。

AIを活用した新規事業開発の経験豊富な人材は実際に採用するとなると，非常に希少価値が高く，給与も高い傾向にあります。そのような人材を採用したいという要望があった場合は，プロシェアリングの活用を検討・提案してみてはいかがでしょうか。